

耳みみを調べてみよう!

1. 触ってみよう



耳の周囲を触って痛がる様子を示したら要注意です。

2. のぞいてみよう



耳の周りが赤くなっていたり、べたべたしたものがついていないかチェックしましょう。

3. 耳の臭いをかいでみよう



健康なときは、とくに変わった臭いはしません。耳になんらかの異常があるときには、すえたような、むれたような異臭がします。

外耳炎になりやすい犬種とは?

●たれ耳である ▶ 通気が悪い

ビーグル、ペキニーズ、コッカースパニエルなど



●外耳道が狭く、耳にしわが多い

▶ 耳垢がたまりやすい

ブルドッグ、パグ、プードルなど



●フケの出やすい犬 ▶ 耳垢も多い

ウエスト・ハイランド・ホワイトテリア、ジャーマン・シェパード、ダックス・フンドなど



●耳の中に毛が生えている ▶ 通気が悪い

コッカースパニエル、ヨクシャーテリア、マルチーズ、プードルなど



●アトピー体質の犬 ▶ 外耳炎は皮膚病のひとつ

柴犬、シー・ズー、レトリーバー、ウェスト・ハイランド・ホワイト・テリアなど



犬外耳炎治療薬

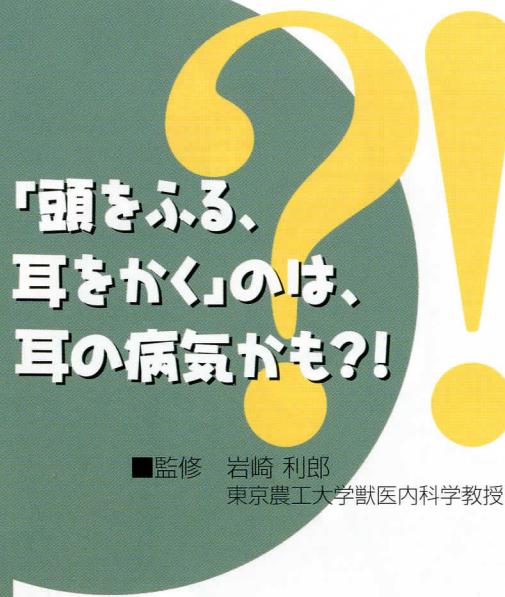
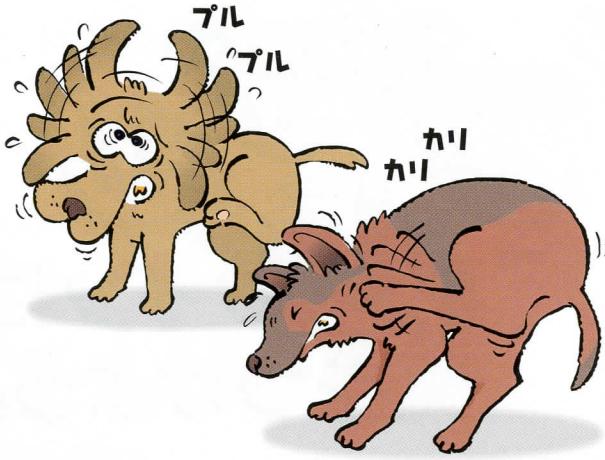
動物用医薬品 オフロキサシン合剤

動物用タリビッド® L3

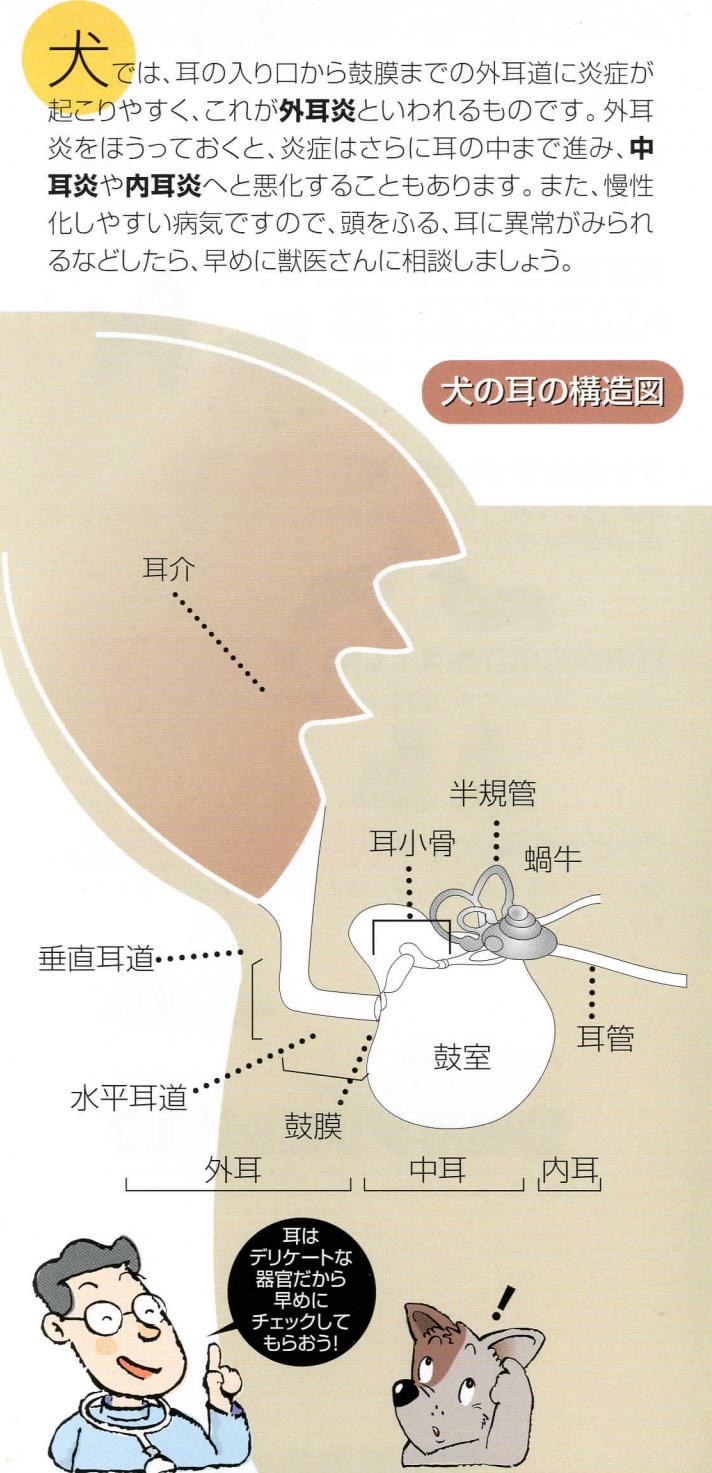
“プル” サインに 気をつけよう。

プル
プル





シャンプーの後に頭をふることはよくありますが、それ以外にも気がつくとよく頭をふっていることはありませんか？
頭をふったり、耳の後ろをしきりにかくのは、耳の病気にかかっている可能性があります。



外耳炎の予防のためには、耳を清潔に、そしてできる限り乾燥した状態に保つことが大切です。
そのために、シャンプーや水遊びをした後には、綿球などに水分を吸収させ、十分に乾燥させましょう。



ポイント
綿棒で耳垢を無理にとろうとしないこと!
耳垢を耳の奥に押し込むことになり、かえって悪化することになります。綿棒を使うとしても水分をふき取る程度に使用しましょう。